



木や自然のこだわりを集めた 「本物」だけを追求

—川口離れたコテージ、木風堂—

木風堂 —きっふうどう— 代表取締役 鈴木 常久 氏

趣味から本格始動 木のぬくもりあふれる木風堂

当社は、文久元年(1861年)の幕末のころから西新宿で小売酒屋を営んでいました。現在は、コンビニエンスストア3店と木風堂の経営をしています。私は、以前から「木」に興味があって、山に見に行ったり、木材専門の研修会などにも参加し勉強してきました。木の良さ、自然の良さを伝えたいと思い、コンビニエンスストアの方の経営を息子に任せられるようになったのをきっかけに、この木風堂をオープンしました。

一流の手仕事に触れることができるのも幸せ

「木風堂」は、粋の意味を込めた「気風」ともかけて、「きっふうどう」と読みます。

当店は、主に、テーブルや椅子、看板などに使う木材、木の食器やインテリア雑貨、自然素材を中心に販売しています。木材は、材木屋さんに見に行き、原木を購入し製材します。色々な木を見るたびに「木ってこんなにすごいのか」と感じ、原木の味わいあるところをどう切り取るか、考えるのもとてもおもしろいですね。また、オーダーメイドテーブルを注文していただくお客様が多く、天板や脚を選んでいただき、職人さんのところで製作しています。このお店を始めて驚いたのが、若い年代のニーズも高いことです。こういうお店なので、中高年の方ばかりかと思ったら、マンションを購入されて家族テーブルはオーダーメイドにしたいとか、飲食店を出すのに看板になる板を探しているとか…嬉しい誤算でしたね。

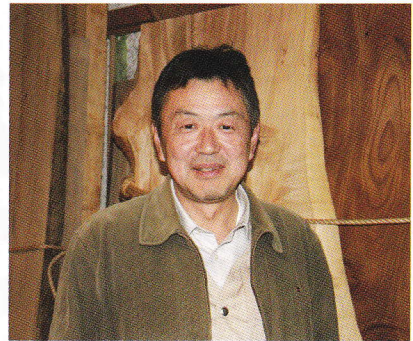
また、木雑貨や和小物も自分で選んでくるのですが、松本民芸家具のイス、中川政七商店の麻製品、東北の山奥に住むおばあちゃんが作ったかごバッグ、思いのこもった手仕事は違うんですね。そういう手仕事に触れることができるのも幸せだと思います。

木のこだわり、自然のこだわりを集めた「本物」だけを売りたい

私の、経営でのポリシーは「現金取引」ですね。自分で好きなことを仕事にしていて、お金の心配はしたくない。原木を丸太ごと買う時も現金ですし、販売も現金です。特別なお店を目指しているわけではなく、木のこだわり、自然へのこだわりを集めた「本物」だけを売りたい。身の丈の中で、良いお店をつくっていきたくと考えています。よく来ていただける方には、「もっと人を集めるために喫茶店もやった方が良い」と助言をいただいたり、「道楽だ〜」なんて言われますが、私は木が好きでここに来ていただいたお客様を大切にしたいと思っていますし、あまり広げないこの幅が、確かに気が楽でいいんですね(笑)。

また、私は「新宿駅と地域まちづくり協議会」のスタッフもしていて、地域主体のまちづくりや農業の活性化を目指し活動しています。新宿は農家が多く、鉄砲ユリの生産などでも知られています。この地域性を生かして、地元産の農産物販売等のイベントや、都心の人が農業に触れる収穫体験等も企画しています。地元の人たちと一緒に、地域を良くしていきたいと考えています。

今後の目標は、これからも「木」にこだわり、地域に根差した職商人の店づくりをしていきたいと思っています。木が好きなお客さんにもっと知っていただきたいですね。



木のぬくもりあふれる店内



原木を購入



木や漆の食器類



和小物

企業情報

木風堂 —きっふうどう— <http://www.liqabell.co.jp/>
(株式会社リカベル)

〒333-0834 川口市安行領根岸2244-3

TEL:048-299-9539 FAX:048-299-9539